

テクトロニクスTDS3000B シリーズ

アジレントDSO6000A比較情報

テクトロニクスDPO vs アジレントMega-Zoom

Mega-Zoomはいつ1Mポイントになるの？

限られた条件時しかアジレントDSO6000はデータ長が1Mになりません

- 最高2チャンネルまで。またチャンネル1が‘オン’の場合はチャンネル2は‘OFF’、同様にチャンネル3が‘オン’の場合はチャンネル4は‘オフ’ がある必要がある。
- ロジック入力は‘オフ’
- 単発取込みモード
- ノーマル・アキュイジション・モード(またはアベレージ・モードで回数を1回にセット)
- 時間軸はメインに設定

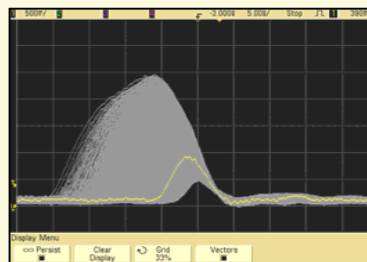
上記条件をすべて同時に実現しなければならない

Mega-Zoom は正しい選択ではありません

- ✗ 常に1Mポイントを使用しているわけではない
- ✗ レコード長を設定できない
- ✗ レコード長がいくつなのか表示されない
- ✗ Mega-Zoomではランダム・グリッチを確実には見つけれない
- ✗ Mega-Zoom は DPOとはまったく異なる

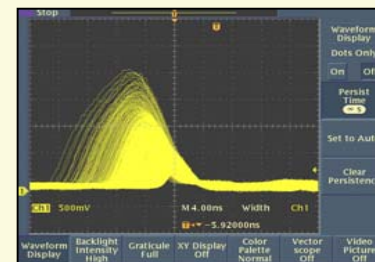
異常パルスの検証 - パーシスタンス・モード利用

✗ DSO6000A Mega-Zoom



- ✗ パーシスタンス・モードでは塗りつぶした表示になります
- ✗ 可変時間パーシスタンス・モードをサポートしていない

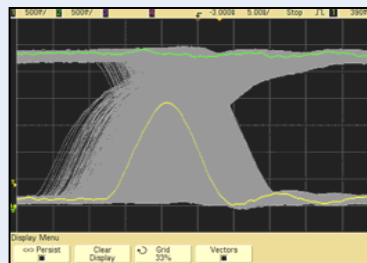
✓ TDS3000B DPO



- ✓ パーシスタンス・モードでもグレイ・スケール(階調表示)を実現、取込みストップ時も表示を維持
- ✓ 可変時間パーシスタンス・モードをサポート

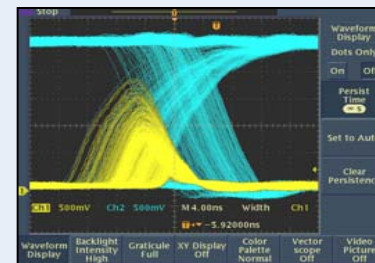
異常パルスの検証-2チャンネル同時表示

✗ DSO6000A



- ✗ 取込みストップ時、最後の1ライン以外は全チャンネルとも同色表示
- ✗重なった部分はチャンネルの区別が不可能

✓ TDS3000B



- ✓ チャンネルごとに異なったカラーで表示
- ✓ 波形取込みをストップしても階調表現表示を維持